

にしんESD講座通信

2020年10月25日
地球温暖化を学ぶ実験教室

4 質の高い教育を
みんなに



13 気候変動に
具体的な対策を



市民会館で地球温暖化を学ぶ科学実験教室を開催しました。

本事業は、企業と連携した地球温暖化対策事業として実施するもので、東邦ガス株式会社にご協力をいただき、例年人気の教室です。講師は、東海市にあるガスエネルギー館の前口博之さんと小嶋千秋さん。始めに、海水面の上昇による耕作地域の減少や最近起こっている「猛暑」や「集中豪雨」など世界中で進む異常現象の例から、その原因の可能性が高い「地球温暖化」について、学びました。

次に、地球温暖化の原因である二酸化炭素を減らす取組について一緒に考えました。環境にやさしく便利で快適なくらしのためには、太陽光発電エネルギーなどの自然エネルギーと、供給が安定している天然ガスなどの化石エネルギー、その他エネルギーの良いところを組み合わせることが大切で、化石エネルギーの中では天然ガスが一番クリーンなエネルギーであると言われているとのことです。また、運搬する際に圧縮して液体にすることで一度に多くの量を運搬できる天然ガスについて、そのものを使用することは危険であるため、液体窒素を使用した冷却実験に移ります。



液体窒素を使った冷却実験では、その特性について紹介の後、マイナス192度の世界を体感するために、花、ボールや風船などを使って、その威力を目の当たりにした参加者は、子ども、大人、関係なくとても驚いていました。

最後には、身近で取り組める二酸化炭素を減らす取組として、エアコンの設定温度を適正にするなど電気やガスの無駄使いをなくすこと、シャワーの出っぱなしをなくすことや買い物にはマイバッグを使用するなど、地球環境を守るための行動について呼びかけがありました。「未来の地球のために、真剣に考えよう！」という講師の投げかけから、真剣に考えている子どもの姿を見て、大人も含めてみんなが地球環境について考えていく機会を作っていく重要性を感じました。